

10月20日(木)

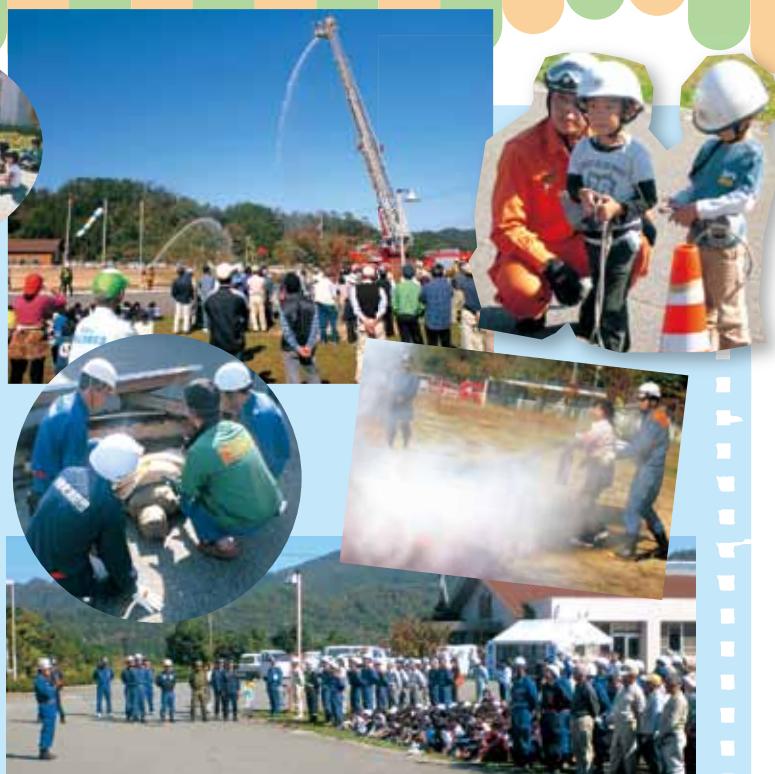
岩美町防災訓練を行いました

10月20日(木)、岩美南小学校と蒲生活性化施設で、岩美町防災訓練が行われました。

当時は、鳥取県東部で震度6強の地震が発生したという想定のもとに、本庄・小田・岩井・蒲生地区の方、岩美南小学校児童、岩美消防署、岩美町消防団、鳥取警察署、海上保安署など防災関係機関が参加し、住民避難訓練、消防ポンプ車、はしご車による消火訓練、また、自衛隊、日赤奉仕団による炊き出し訓練などが行われました。

今年、3月11日には東日本大震災という未曾有の大災害が発生し、津波などで、多くの方が犠牲になりました。

海に面した本町では、決して他人ごとではありません。皆さんのが災害が起きたときにまず何をすべきか、何ができるのかを日頃から考えるようにしましょう。



10月30日(日)

永明寺で因幡薬師靈場 合同法要が行われました



10月30日(日)新井の永明寺で因幡薬師靈場の合同法要が行われ、各地から集まつた参詣者およそ150人が所願成就を祈りました。

今回の合同法要では東日本大震災の犠牲者の供養をし、復興を祈願することも兼ねました。

合同法要後は境内で、龍神太鼓の披露、柴燈護摩供や火渡りが行われました。



10月22日(土)

「山陰海岸ジオパーク ラッピング列車」出発式開催

- 10月22日(土)鳥取駅構内で山陰海岸ジオパークラッピング列車出発式が行われました。

- これは、鳥取県がJRの協力のもと、山陰海岸ジオパークを県内外の皆さんにPRするため、鳥取砂丘と浦富海岸をデザインしたラッピング列車(2両1編成)を運行するものです。

- 2両1編成となるラッピング列車は、土日祝日については臨時快速「山陰海岸ジオライナー」(鳥取~豊岡)を中心に運行、平日は山陰本線(鳥取~出雲市)と因美線(鳥取~智頭)を中心に運行されます。運行期間は平成23年10月22日から概ね2年間を予定されています。



11月6日(日)・7月(月)

松葉がにの初競りが 行われました

岩美町の誇る海産物松葉がに(ズワイガニ)の季節がやってきました。

町内の網代港と田後港に所属する沖合い底びき網漁船が、11月6日(日)の松葉がに漁解禁にあわせ山陰沖合でズワイガニを漁獲し、6日(日)には網代港で、7日(月)には田後港が水揚げする境港で初競りが行われました。

美味しいそうなカニが競り場に所狭しと並び、威勢の良い競り人の掛け声で次々と競られていました。初競りでの最高値は、網代港では1匹1万2,500円、境港では1万8,000円



とまずまずの出だしとなりました。山陰の冬の味覚の王様と言われる松葉がにの登場に港は活気づいていました。